

第251回
産業セミナー

関西大学 経済・政治研究所

対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人、一般

近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研究班

21世紀のTSMCの躍進と 関西系商社草創期の人材形成

日時 2022年6月25日(土) 13:00～16:10

聴講無料

オンライン同時配信

会場 関西大学 梅田キャンパス8階ホール 大阪府大阪市北区鶴野町1-5

事前申込制 ハイブリッド開催 Zoom有

テーマと報告者

■ 第1報告

21世紀の半導体産業に見る 日本と台湾

研究員 関西大学 経済学部・教授 北波 道子

2021年11月にTSMC(台湾積体回路製造)が熊本県に新工場を建設すると発表しました。TSMCは500以上の企業から半導体を受託製造している世界最大のファブリー事業者です。半導体製造と言えば、1980年代半ばには日本企業が世界のトップに躍り出て、圧倒的なシェアを誇っていました。日本を先頭として飛翔する雁の群れのようにイメージする「雁行形態発展論」は、これまで一定の説得力を持って人口に膾炙してきました。しかし、今、それが大きな変動期を迎えています。その変動を21世紀のTSMCの躍進から考えたいと思います。

■ 第2報告

関西系商社草創期の人材形成 ー伊藤忠商事と安宅商会のケースー

研究員 関西学院大学 商学部・教授 木山 実

戦前期の関西には繊維商社や鉄鋼商社という取扱品を比較的限定した専門商社がありました。戦後はこれらの商社が総合商社化戦略をとって巨大化し、戦前期からの2大商社であった三井物産や三菱商事とともに10大商社を構成して日本の高度経済成長を影で支えました。

本報告では近年非常に勢いのある伊藤忠商事をとりあげ、戦後(1977年)に伊藤忠商事に吸収合併された安宅産業(もと安宅商会)も交えて、これら2つの関西系商社が明治期の貿易業参入時に人材面の課題をどのように克服したのかを考えてみます。

申込方法

事前申込制

対面参加：先着50名

右記QRコードより申込フォームにアクセスの上、お申込み下さい。

<https://forms.gle/3CDh7GVCBhxJSCDy6> 申込締切 6月19日(日) 17:00

申し込みフォームを利用されない方は、氏名・ふりがな・所属・連絡先(電話番号・メールアドレス)・参加人数・参加方法(来場orオンライン)、件名に「6/25セミナー申込」を明記の上、下記のお申込み先(関西大学 研究所事務グループ)までハガキ、FAX、E-mail(keiseiken★ml.kandai.jp)でお申込みください。※アドレスの記号「★」を「@」に置き換えて下さい。



主催 関西大学経済・政治研究所

後援 大阪商工会議所 大阪市工業会連合会 大阪市産業経営協会 株式会社りそな銀行



関西大学

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号 E-mail: keiseiken★ml.kandai.jp
TEL(06)6368-0653/FAX(06)6339-7721 ※アドレスの記号「★」を「@」に置き換えて下さい。
参加者の皆様におかれましては、感染防止策を講じて頂きますようお願い申し上げます。

最新情報発信中! ぜひフォローをお願いします。



@touzaiken.keiseiken.hogakuken
【東西研・経政研・法研】関西大学3研究所合同



@KU_kenkyusho 関西大学文系3研究所

